

# 仏事のしおり

—伝えたい敬いのこころ—

祈りの専門店

ほうりん

# 感謝する心を 命を尊ぶ心を これからの時代もずっと… 私たち「ほうりん」の願いです

たとえば、お仏壇のお供え物をいただく前に、  
鈴を鳴らして手を合わせる。

かつてどの家庭にも当たり前にあった習慣は、  
感謝する心や命のつながりを  
忘れないための生活文化でもありました。

私たちほうりんは、仏壇・墓石をただ販売するだけでなく、  
そのような心を豊かに育む文化を守り、  
次の世代へ継承していくことを使命と考えています。

目に見えないものを敬う心が

人々から薄れつつある時代だからこそ、

古代から受け継がれる儀礼や慣習を大切にしたい。

その上で、現代を生きる人々の暮らし方や価値観からも  
受け入れられるご供養のかたちを創造していきたい。

私たちは、新しい時代へと一歩ずつ歩み始めています。



## 目 次

葬儀の翌日から	2
忌中の心得	3
中陰	4
満中陰	6
年忌法要	8
年間の行事	12
お盆	13
位牌	16
各宗派のご本尊	17
仏壇	18
墓石	20
浄土真宗	22
神道	23
各種手続き	24
法要の準備と種類	26
グループ概要・店舗案内	28



# 葬儀の翌日から

## ◆ご近所や葬儀の際にお世話になった方へのご挨拶

- ・服装は出来れば喪服が好ましいですが、地味な服装でも構いません。
- ・葬儀中いろいろ手伝って頂いた方からの引き継ぐ事があれば早めに行い、お詫びやお礼が必要であれば早急に対応しましょう。

## ◆寺院、教会、神社へのお礼

- ・御布施・戒名料・御祭祀料等をお渡します。
- ・四十九日忌法要、五十日祭などの日時をご相談しましょう。(日時が決まったら、ご親族の方々に早めにお知らせしましょう)

## ◆各種手続き

- ・年金・健康保険・銀行など、各種手続きを行いましょう。
- ・手続きに関してはP24を参考にして下さい。

## ◆病院・施設や勤務先へのご挨拶

- ・御挨拶を兼ねて、私物の片付けと引取りに行きましょう。

## ◆香典や御供物の確認

- ・弔問者のお名前、御住所、香典帳の整理をしましょう。

### ■不祝儀袋と表書き

双銀・黒白・黄白・紅白(慶なし)

【おふせ】仏式



お寺や僧侶への礼金に用います。枕経、通夜、葬儀、戒名などのお礼などを含みます。

双銀・黒白・黄白・紅白(慶なし)

【かいみょうりょう】仏式



戒名を受けた礼金に用います。ただし浄土真宗では「法名料」ほうみょうりょうを用います。

黄白・白封筒

【おせんりょう】



僧侶が飲食の接待を辞退した場合にお渡しします。

黄白・白封筒

【おくるまだい】



僧侶へのお足代としてお渡しします。

双銀・黒白

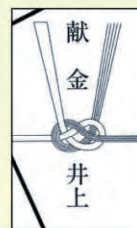
【おさいしりょう】神式



神官へのお礼に用います。弔事だけでなく、一般的な神事にも使います。

双銀・白封筒

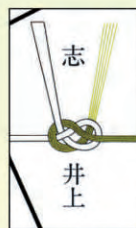
【けんきん】キリスト教式



「御花料」「御ミサ料」同様に教会への礼金に用います。神父・牧師への礼金には「御札」を使います。

黄白・白封筒

【し】(スズ)



葬儀全般でお世話になった人へのお礼に用います。

※右記の他、「御札」「寸志」「御席料」「薄謝」「粗菓」と書くこともあります。



# 忌中の心得

## 忌服の期間

明治7年に出された太政官布告では、下記のように忌(忌中)と服(喪中)の期間をこと細かく定めています。忌と服は、謹慎度の深さによって分けられますが、「忌」は自宅に謹慎する期間、「服」は喪服を着用する期間と考えていいでしょう。現在ではもちろん、こうした法令はすべて撤廃(昭和22年に廃止)されていますが、仏事の慣例としては今もこの太政官布告が一つの目安にされていて、例えば父母の死亡に際して四十九日までが忌中、一周忌(一年間)までが喪中とされることが多いようです。

### ■喪中期間の目安

続柄	忌中	喪中
父母	50日	13カ月
養父母	30日	150日
夫	50日	13カ月
妻	20日	90日
嫡子(息子)	20日	90日
その他の子(娘)	10日	90日
養子	10日	30日
兄弟姉妹	20日	90日
祖父母(父方)	30日	150日
祖父母(母方)	30日	90日
おじ・おば	20日	90日
夫の父母	30日	150日

### ■服喪期間の目安

配偶者死亡の場合	10日間
父母死亡の場合	7日間
子供死亡の場合	5日間
孫死亡の場合	1日間
兄弟姉妹死亡の場合	3日間
祖父祖母死亡の場合	3日間
配偶者の父母死亡の場合	3日間
伯父伯母(叔父叔母)死亡の場合	1日間

## 忌中、喪中に慎むこと

喪中期間は神社への参拝や結婚式、落慶式などのおめでたい席へは出席を控える場合もあります。

忌明け以降は差し支えありませんが、慶事を主催されるのは控えた方が良いでしょう。

喪中に迎えた正月には、しめ飾りや鏡餅のような正月用の飾り付けは控え、年始のご挨拶回りや初詣、年賀状なども控えるのが一般的です。



# 中陰

大切な人が亡くなり四十九日の間 新精霊は行く先がまだ定まっていないとされ  
現世と来世を彷徨い続けます その間 新精霊が無事あの世へ旅立てるよう  
7日ごとに追善供養する事が 残された者の大事な務めの一つ  
それが中陰の間の供養です





■初七日から三十三回忌をつかさどる十三仏



初七日……不動明王 <small>ふ どう みょうおう</small>	百ヶ日……観世音菩薩 <small>かん ぜ おん ぼ さつ</small>
二七日……釈迦如来 <small>しゃ か にょらい</small>	一周忌……勢至菩薩 <small>せい し ぼ さつ</small>
三七日……文殊菩薩 <small>もん じゆ ぼ さつ</small>	三回忌……阿弥陀如来 <small>あ み だ にょらい</small>
四七日……普賢菩薩 <small>ふ けん ぼ さつ</small>	七回忌……阿閃如来 <small>あ しゆく にょらい</small>
五七日……地藏菩薩 <small>じ ぞう ぼ さつ</small>	十三回忌……大日如来 <small>だい にち にょらい</small>
六七日……弥勒菩薩 <small>み ろく ぼ さつ</small>	三十三回忌……虚空蔵菩薩 <small>こ くう ぞう ぼ さつ</small>
七七日……薬師如来 <small>やく し にょらい</small>	

- 白木位牌…… 葬儀から四十九日忌までお祀りする仮の位牌です。
- 塔婆…… 初七日から百ヶ日までの塔婆を中陰壇で祀ります。
- 供具団子…… 地域や風習によって異なりますが、初七日以降は茹でた団子を増やしていきます。
- 高杯<sup>たかづき</sup>…… 果物、饅頭、餅、菓子などを盛り付けます。
- 置布…… 奉書で包んだ白布です。お布施と一緒にお寺に持っていきます。
- 廻し香炉…… 法要時に焼香するための香炉。

霊具善(四十九日忌まで)



【精霊膳】



【本尊膳】

- ① 飯椀…炊き立ての御飯
- ② 汁椀…みそ汁かすまし汁
- ③ 平椀…高野豆腐・椎茸などの精進ものの煮物
- ④ 壺椀…煮豆かあえ物(白木膳にはありません)
- ⑤ 高杯…酢の物

※「生飯」は施飢餓供養の為にします。  
※地域により、お供えする物などが多少異なります。



# 満中陰

四十九日目の忌明けを迎え 故人が旅立つ 節目の法要  
そして残された家族親族が故人を偲び 故人の思いを引き継ぎながら  
悲しみから愛しみへ  
一人一人が故人を深く胸に刻み 新たな人生を歩き出す日





## 満中陰法要に準備が必要な物

### 祭壇のお供え物

生花一対、49個の小餅、重ね餅、果物、おまんじゅう等をお供えします。

### 粗供養品の手配

法要日にお参りくださった方への手土産です。

### 食事の手配

持ち帰りを考慮してパックのお膳も便利です。

### お寺様へのお礼

お布施・お車代・お膳料

- 本位牌(塗り位牌)… 満中陰以降の法要時には、祭壇に本位牌を祀ります。
- 重ね餅…………… 一升で2段か3段のお餅をお供えします。
- 小餅…………… 一升で49個のお餅をお供えします。

## 墓地へ持参するもの (四十九日納骨時)

- |                               |                               |  |                              |
|-------------------------------|-------------------------------|--|------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ご遺骨  | <input type="checkbox"/> 白木位牌 | <input type="checkbox"/> 白木膳           | <input type="checkbox"/> お茶湯 |
| <input type="checkbox"/> 塔婆   | <input type="checkbox"/> 生花   | <input type="checkbox"/> お線香(マッチ、ローソク) | <input type="checkbox"/> お洗米 |
| <input type="checkbox"/> お供え物 | <input type="checkbox"/> 手桶   | <input type="checkbox"/> 供具団子(49個)     | <input type="checkbox"/> お水  |

## 四十九日の流れ





# 年忌法要

法事 つまり「仏法の行事」ということ

この仏法は “自分自身のため” のものでもあり

法事の場に参集した家族 縁者の一人一人が

仏法を自分自身に置き換えて 聞き味わうことが大切です

皆のために仏縁を結び深めて下さるのが法事です

これを縁に仏法を日常の中に生かしていくことが大切です 故人の供養となり

大切な節目の行事です

## 忌日表

一周忌	満1年目
三回忌	満2年目
七回忌	満6年目
十三回忌	満12年目
十七回忌	満16年目
二十三回忌	満22年目
二十五回忌	満24年目
二十七回忌	満26年目
三十三回忌	満32年目
三十七回忌	満36年目
五十回忌	満49年目

### 一周忌

お亡くなりになってはじめての祥月命日です。

### 三回忌

一周忌の翌年の祥月命日となります。

### 祥月命日

一周忌以降の月日と同じ月日。

### 命日

各月のお亡くなりになった日と同じ日。



## 法事の流れ

前日

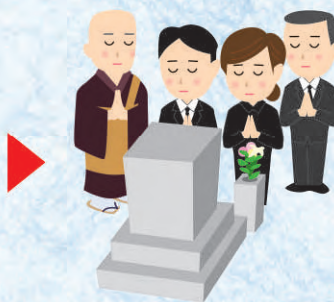


お看経

当日



読経



お墓参り



会食

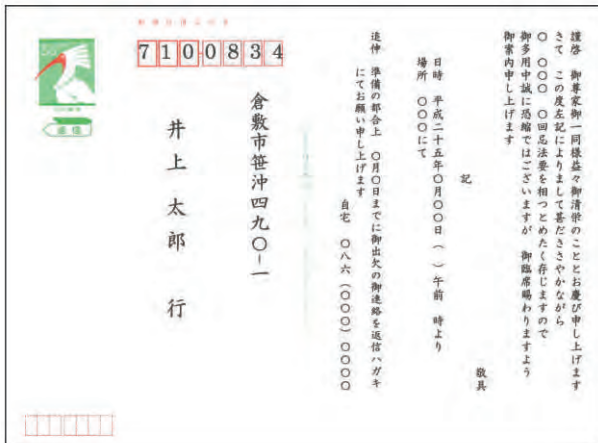


## 法事の準備

- ①ご法事の日時を決める。  
故人の祥月命日に営むのが正式ですが、場合により日にちを変える事もあります。  
早めにご住職に相談しましょう。
- ②会場を決める。(自宅・寺・ホール等)
- ③参列者に日時と会場を早めにご連絡。
- ④約2週間前には、出席人数を確認。
- ⑤お膳、手土産(粗供養品)、お供え物等の準備。
- ⑥お寺様への御布施、御車代、御膳料等の準備。

### ■法要の案内

#### 往復はがき例



### ■法要の挨拶

#### 挨拶例

##### ●法事/法要～開始の挨拶

「本日は、お忙しいところお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

ただいまより、亡 〇〇の△回忌法要を営ませて頂きます。」

##### ●法事/法要～終了の挨拶

「おかげをもちまして、亡 〇〇の△回忌法要を無事に営ませて頂くことができました。

本日は誠にありがとうございました。これより、ささやかですが、お食事を用意致しております。

皆様、故人の思い出話などを交えて、ごゆっくりお召し上がりください。」

### ■粗供養品



### ■会席膳





# 年忌法要

## 祭壇の祀り方





## お供え



小餅



饅頭



おぼろ饅頭



果物



生花

## 段盛の祀り方



上段:まんじゅう

中段:もち・米菓子

下段:くだもの



## 塔婆

寺院に前もって届ける必要があるかを確認。当日、自宅で書いて頂く場合はすずり・筆・墨の準備をしておく。



## 霊具膳



【精霊膳(小)】

- ①飯椀…炊き立ての御飯
- ②汁椀…みそ汁かすまし汁
- ③平椀…高野豆腐・椎茸などの精進ものの煮物
- ④壺椀…煮豆かあえ物
- ⑤高杯…酢の物



【本尊膳(大)】

- ※「生飯」は施餓餓供養の為にします。  
※地域により、お供える物などが多少異なります。

## 焼香



1. 隣の人から香炉が回ってきたら、軽く会釈して受け取ります。



2. 香炉を自分の前に置き、遺影に向かって一礼し、焼香します。



3. 合掌してから一礼します。



4. 香炉を次の人へ回します。



# 年間の行事(仏式)

故人を思い先祖を思う

そこに存在は無くとも心の中で永久に存在は生き続ける

日々共に語り 日々共に過ごし そして喜怒哀楽を生前通り日々共に分かち合う

一日毎月毎年と変わらず続く 敬いの証を形にして

## 葬儀後一周忌までの法要

### ・初七日(しょなのか)

初七日法要は葬儀当日に環骨勤行かんこつごんぎょうと同時に行われることが一般的になっています。

### ・二七日(ふたなのか)

### ・三七日(みなのか)

### ・四七日(よなのか)

### ・五七日(いつなのか)

### ・六七日(むなのか)

二七日から六七日までは遺族で供養し、僧侶は招きません。故人の好物を供えて、遺族の皆で読経を行います。

### ・七七日(なななのか)

忌中最後の日きちゅうで、満中陰まんちゅういんとも呼ばれています。この四十九日に納骨することも多く、僧侶を迎えて法要を行います。僧侶のほかに、親族・近親者・友人知人を招き、法要後には『お斎』と呼ばれる会食の席を設けます。

### ・百か日(ひゃっかにち)

遺族だけで行う場合が一般的ですが、僧侶を招く場合もあります。お墓参りを兼ね、百ヶ日塔婆を持参します。

### ・初盆(はつぼん)

(新盆にいぼんとも呼ばれる、没後初めてのお盆)

初盆は仏を供養する法要で、お盆には祭壇提灯を飾ります。

### ・一周忌(いっしゅう忌)

僧侶を招き、遺族・親族・近親者・友人知人で執り行います。法要の後には、会食の席を設け、もてなすのが一般的です。

## 春秋の彼岸

御先祖様の徳を偲び自己を振り返る法要を自宅や寺院で行い、墓参りする習わしを言います。日本では、春分と秋分の季節に行います。

彼岸の期間 春…3月18日～24日  
秋…9月20日～26日

お仏壇を綺麗にし、新鮮な花(春:桜、桃、れんぎょう等、秋:萩、桔梗、紫苑等)に取り換え、季節の初物や精進料理を盛ってお供えすると良いでしょう。彼岸中は毎朝晩、仏壇に燈明や線香をあげてお祀りし、彼岸の中なかつ日(春:3月21日、秋:9月23日)前後に家族揃って御先祖様のお墓参りをするようにしましょう。

## 日々のおつとめ

一日のうち、ほんのわずかな時間でもかまいませんから、心をこめて仏様や御先祖様に毎日欠かさずおつとめをしましょう。

お仏壇を綺麗にし、仏飯・お茶・お花等を供えましょう。燈明を灯し、線香を立て、真心をこめて手を合わせましょう。そしてお墓参りもこころがけ、墓所をきれいに保ちましょう。



# お盆

## お盆の祀り方

岡山の地域では、お盆は8月13日から15日の3日間です。ご先祖様の霊と向き合える大切な時期です。お寺では「盂蘭盆会（うらぼんえ）」という法要をとり行います。各家庭では、お盆には故人の霊が帰って来るといわれ、祭壇をお祀りし、提灯を吊るし、迎え火を焚いてお迎えします。

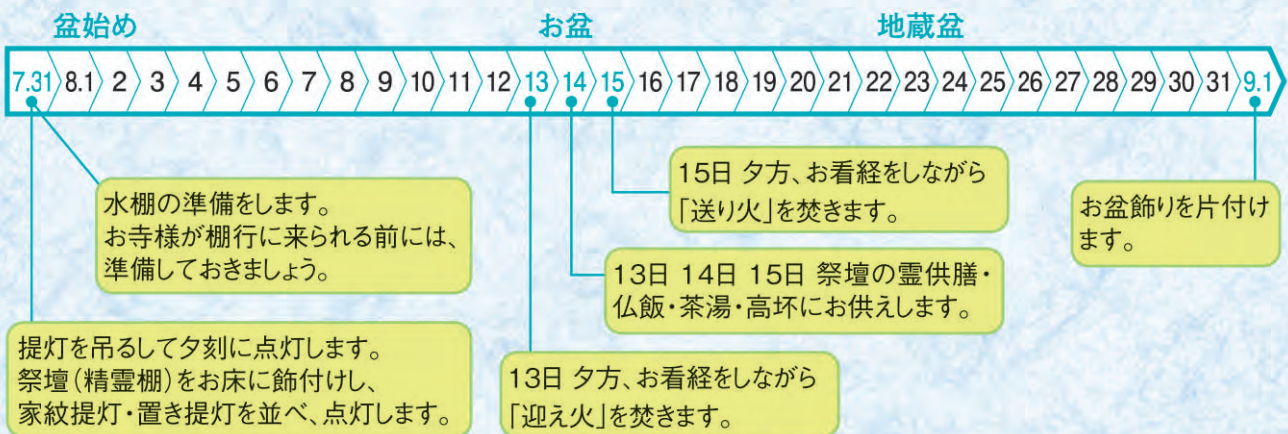
## 初盆（新盆）

四十九日忌法要が済んで、初めて迎えるお盆を「初盆」と言います。初めてお盆を経験する精霊は、まだ忌みが強く、特に丁寧に祀りしなければならないと言われていいます。

ただ、お盆の直前（6月26日以降）に亡くなられた場合、精霊は満中陰を迎えなければ忌明けが済まないことから、翌年のお盆が初盆になります。（地域・お寺様にもよるので、旦那寺様へご確認下さい。）



## お盆の流れ



## 迎え火・送り火

13日の夕方、家の門口や玄関で、素焼きの焙烙ほうろくにオガラこえまつ・肥松を積み重ねて、燃やし、迎え火として先祖の霊を迎えます。その煙に乗って、先祖の霊が家に帰ってくるともいわれています。

15日の夕方には再び同じ場所で、燃やし、送り火として先祖の霊を送り出します。京都の有名な大文字焼きも送り火のひとつです。

マンションなどの共同住宅の場合、玄関先やベランダで実際に火を焚くことは難しいものです。

その場合は、盆提灯が迎え火・送り火の役割となります。

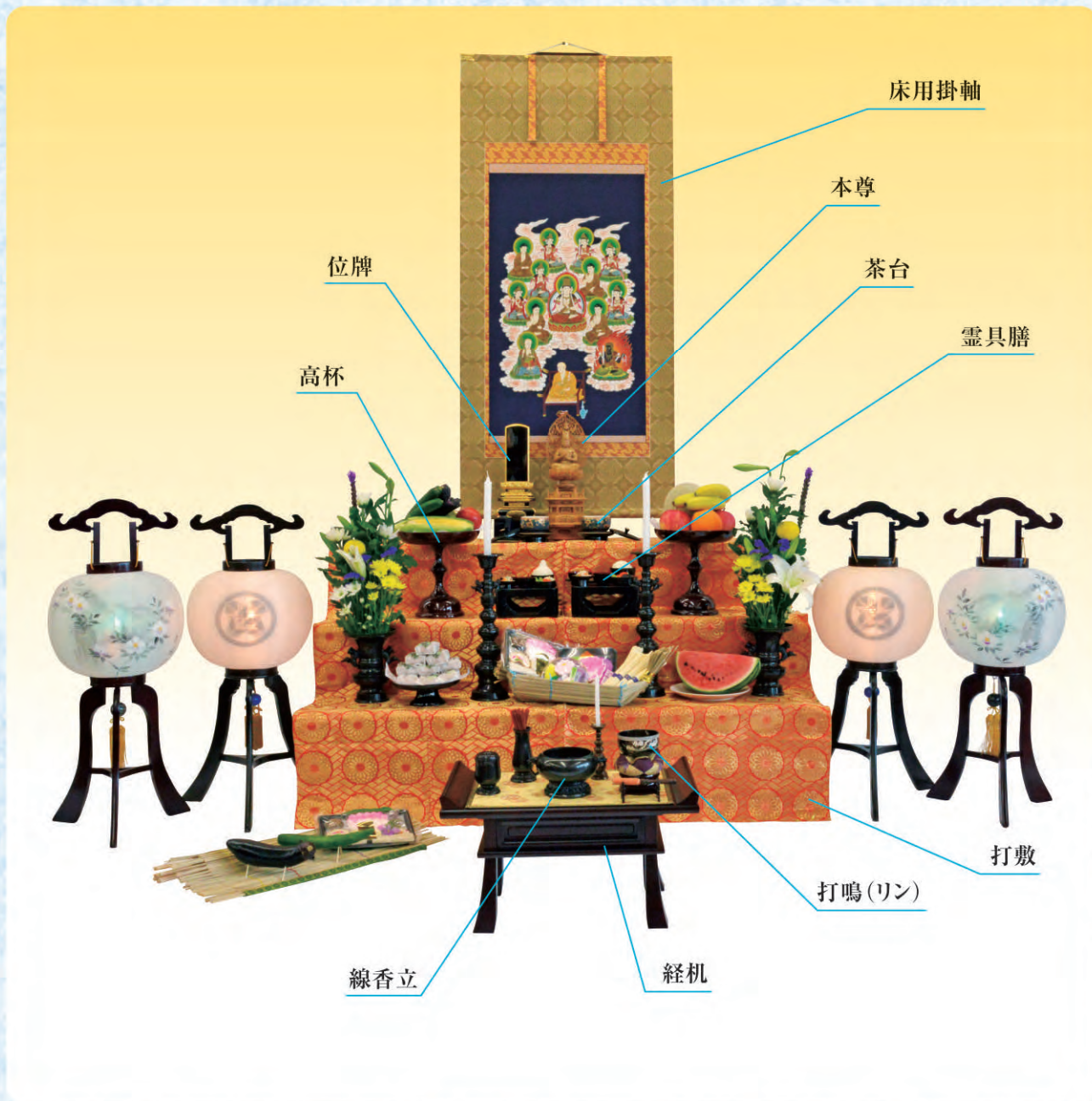
御先祖の霊は、盆提灯の明かりを目印にして家に帰ってくるともいわれています。





## お盆祭壇の祀り方

お盆には祭壇を飾り、お供えをしてご先祖様の供養をしましょう。  
普段、お仏壇の中にいらっしゃるご先祖様に、年に一度は家族と共に過ごして頂くという意味も含まれています。



**打敷**… 金欄・もしくはイ草などでできた敷物

**経机**… 普段、仏壇の前に置いてあるものを移動し、使用されます。

**供物**… 盆菓子やナスビ・キュウリ・トウモロコシなどの夏野菜、そしてソーメン・乾物などをお供えします。  
精霊様のお供えは4種類、つまり「飯・汁・餅・果」が基本になっています。「飯」がご飯、「汁」がまんじゅう・ようかんなど、「餅」が餅や供具団子、「果」が木になるものです。

※お盆祭壇には、本尊・掛軸を出さない場合も御座います。  
宗派や地域によって多少祀り方が違いますのでご確認下さい。



## ■盆提灯

お盆でのご先祖供養に欠かせない提灯ですが、これはご先祖様の精霊は明りによって導かれるといういわれによるものです。

提灯には、「上から吊すタイプ」と「下に置くタイプ」の2種類があります。

吊り提灯は軒下や縁側に吊るし、置き提灯は、祭壇の前に飾ります。初盆の吊り提灯には、戒名を書いた短冊を貼って飾ります。

提灯は宗派による違いはありませんので、お好みの提灯を用意されます。



## ■水棚の祀り方

寺院の施餓鬼棚を小さく、簡略化した檀信徒用の棚を差します。

先祖として供養されていない餓鬼仏、つまり家に入れない精霊を供養するためのものと言われているお盆独特の棚です。

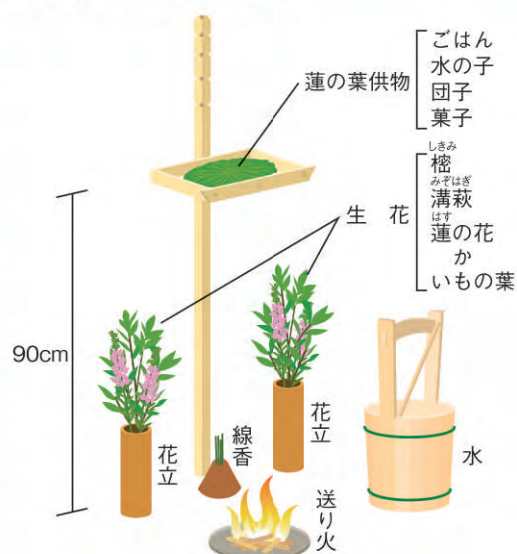
### ■水棚の準備

お寺様の棚経にあわせてご準備ください。  
玄関先や庭先に立てお祀りします。

### ■水棚の供物

蓮の葉・サトイモの葉などや小皿を敷き、団子・ごはん・水の子(洗米にナス・キュウリ・人参等を賽の目切りにして水と混ぜたもの)・菓子・果物・野菜等を供えます。供花には、シキビ・溝萩・蓮の花・いもの葉などの生花をお供えしましょう。

## ■水棚のお祀りの仕方



※図は一般的な祀り方です。  
お祀り方は地方によって異なります。

## ■お墓参りとお墓掃除

お盆が近づきましたら一度お墓掃除に出かけましょう。墓石に水をかけ、洗い流して布できれいに拭き取ります。頑固な汚れ・コケはブラシを使い、傷にならない程度に擦るとよいでしょう。

お盆には家族・御親戚でお墓参りに行きましょう。水とお花、線香とローソク、それに供物と数珠を持参して下さい。お供えをして、花をたて、水をあげ、香を焚き、合掌礼拝を捧げます。





# 位 牌

故人の象徴 それが位牌です

今でも故人が故人ではなく 愛情 慈しみ 心 様々な想いを

いつまでも共有し あなたの側で言葉はなくても

生前と変わらず日々共に過ごす まぎれもない大切なものです

## 白木位牌

白木の位牌は突然訪れる死というものに対して葬儀に用いられる仮の位牌となり、四十九日法要までお祀りします。

そして白木の位牌は本位牌と違い、無垢で清らかであるという意味も持ちます。

## 本位牌

満中陰法要以降は、本位牌を仏壇に祀り、禮拜の対象とします。

黒漆塗りや総金・総粉の位牌が多く、四十九日法要までに早めの準備が必要です。

すでに二人用（夫婦）の位牌でお祀りしていた場合は、文字の彫込み（戒名・没年月日など）が必要です。

生前に戒名を彫っている場合は、戒名の朱字を消し、裏に文字の彫込みをします。



## 繰出位牌

目安として五十回忌を迎えられたご先祖様の位牌をまとめるのが繰出位牌です。

仏壇の中の位牌が多く、ゆったりお祀り出来ない場合はご用意されると良いでしょう。



## 過去帳

過去帳は、累代のご先祖様の戒名を記入して、命日ごとに開帳しそれぞれのご先祖を供養する為のものです。





# 各宗派のご本尊



左 不動明王  
中央 大日如来  
右 弘法大師  
**真言宗**



左 伝教大師  
中央 阿弥陀如来  
右 天台大師  
**天台宗**



左 大黒天  
中央 曼陀羅軸と日蓮聖人  
右 鬼子母神  
**日蓮宗**



左 諸仏諸尊  
中央 釈迦如来  
右 達磨大師  
**臨済宗**  
(禅宗)



左 常済大師  
中央 釈迦如来  
右 承陽大師  
**曹洞宗**  
(禅宗)



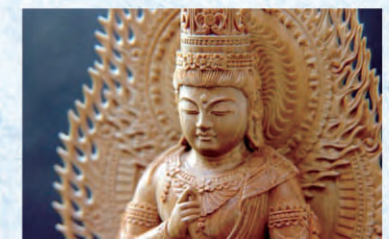
左 法然上人  
中央 阿弥陀如来  
右 善導大師  
**浄土宗**



左 蓮如上人  
中央 阿弥陀如来  
右 親鸞聖人  
**浄土真宗**  
西本願寺派



左 九字名号  
中央 阿弥陀如来  
右 十字名号  
**浄土真宗**  
大谷派





# 仏壇

愛する人を失った悲しみを癒し 家族のつながりを確認する場所  
 いつまでも家族の絆を象徴し故人と向かい合える場所  
 嬉しい報告 悲しい報告 悩みや慈しみを故人と共有する  
 仏壇は大切な心のよりどころです



〈唐木仏壇〉



〈地袋型〉

〈家具調仏壇〉

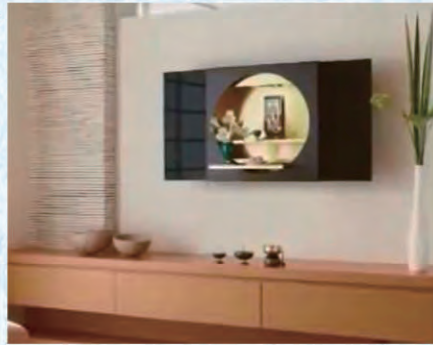




## 〈上置型〉



## 〈壁掛型〉



## 御本尊

御本尊を祀る厨子、それが仏壇です。ご家族を見守り、導いて下さる象徴的な存在です。御本尊や先祖にお供えをし、手を合わせ感謝の想いを伝え、ご供養しましょう。



## 仏壇の役割

### ■心の悲しみの癒し(グリーフケア)

愛する人を失うと、誰もが大きな悲しみを感じます。この悲しみを「グリーフ(悲嘆)」と呼びます。グリーフケア(悲しみを癒すこと)の重要性が認識されるようになってきました。仏壇を前にして故人と会話することによって、人は悲しみを乗り越えていくことができます。

### ■家族のつながり

お仏壇は家族のつながりの象徴です。核家族化は進む一方、お仏壇を通して、家族のつながりを確認し、家族への思いやりを強めていくことができます。普段一緒に住んでいない家族や親戚も、仏壇に向かい合うことでそのつながりを感じることができます。

### ■子供の情操教育

子供の心の教育のために、仏壇を用意される方が増えています。家族がお仏壇へお祈りする姿は、家族への信頼や、他人に対する慈愛の心を育て、目に見えないものの価値を考える姿勢を育てます。また、ご先祖様や、親族との絆を学ぶきっかけにもなります。

### ■残された家族の思い

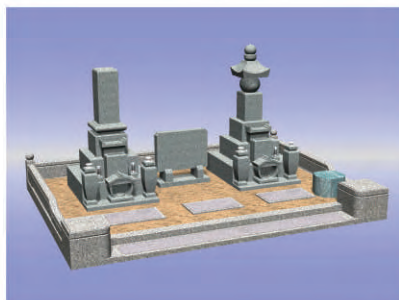
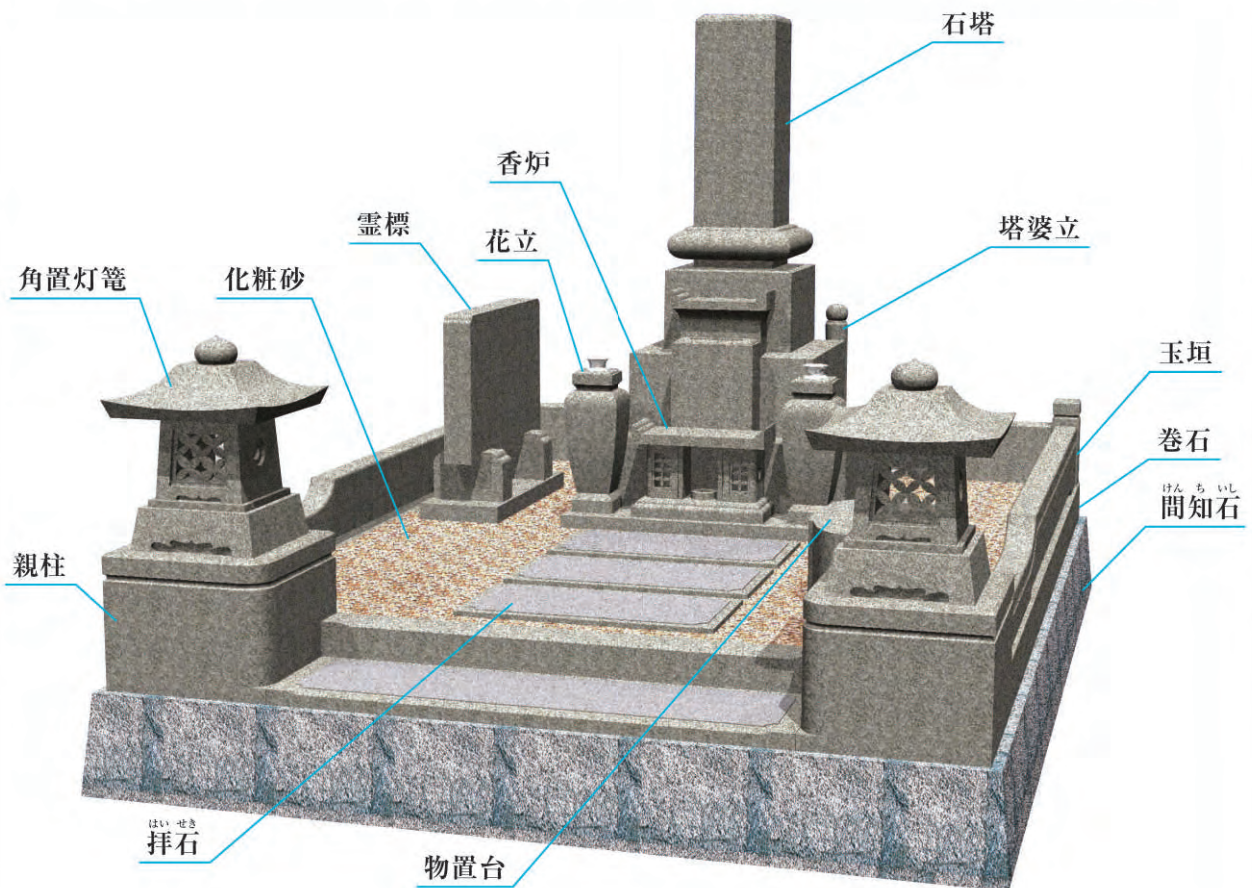
亡くなられた方が今もどこかにいらっしゃると思うのが、日本人の自然な思いです。もしそうだとしたら、毎日ご供養し、会話をかわすことで、前向きに生きていくことができます。お仏壇に向かい合う時間は、自分自身を見つめ直し、心を広げるための貴重なひとときになります。



# 墓石

先祖から今に受け継がれる それぞれの絆のシンボルです  
そこに行けば様々な思いが想いとなり 心に悶えた蟠りや不安を取り除いてもらい  
時には背中を押してもらい 時には自信をもらう  
永遠にあなたと親族の気持ちを安心させてくれる場所です

## 墓地・墓石工事について

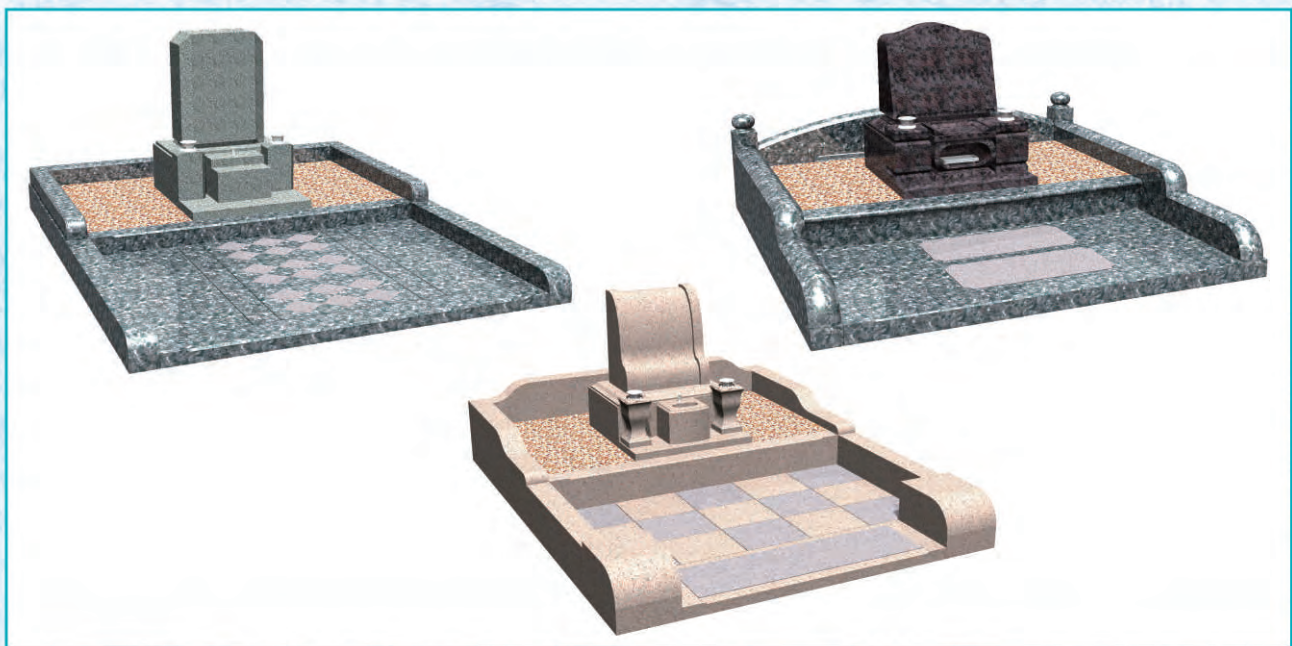




## よく行われる墓地・墓石工事

<p><b>お墓の傾き直し</b></p>	<p><b>お墓の移転</b></p> <p>例：山の上、県外、遠方からの移転</p>	<p><b>お墓をまとめる</b></p> <p>お墓がいっぱいになっていませんか？ 寄せ墓にして、墓石をまとめます。</p>	<p><b>墓石のクリーニング</b></p> <p>水あか、黒ずみ、コケの除去</p>
<p><b>塔婆立・花筒設置</b></p> <p>水の交換が簡単。花もたくさん飾ることができます。</p>	<p><b>墓地の防草</b></p> <p>草の生えにくい土を敷き詰めます。</p>	<p><b>墓地の延石・外柵</b></p> <p>境界をはっきりさせて、土の流れを防ぎます。</p>	<p><b>文字彫刻・着色</b></p>

## デザイン墓



## 法要までにお墓が無い場合

### ■スヤ

仮納骨としてスヤを事前に用意し、法要時に納骨される事が一般的です。あらかじめ、埋葬される場所に穴を掘って準備しておきます。



### ■墓標

地域・宗派によってはスヤを使わず、墓標を建てる場合があります。一般的には、旦那寺にお願いして、戒名等を書いて頂き、あらかじめ墓地に墓標を建てておきます。





# 浄土真宗

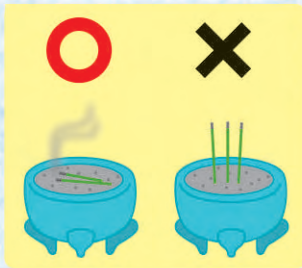
浄土真宗の教えは、「本願を信じ念仏もうさば仏になる」(歎異抄12条)という言葉に集約されています。

阿弥陀如来しゅうじょうの衆生を救い取ろうという願い(本願)に気付き、そのことに目覚める心 これを「他力本願」といいます。

自己中心的な自我を知りそしてそのような存在こそが救いの対象あくにんしよくきであるのです。これを「悪人正機」といいます。



## 線香



線香を香炉の大きさに合うように折り、灰の上に横に寝かせます。

## お水



お水は、華瓶けびょうに水を入れ、檜(シキミ)もしくはそれに似た青木の小枝を挿してお供えします。湯飲みやコップなどは使いません。

## 過去帳



基本的に位牌は使わず、法名を過去帳に記入し、命日にその日の頁を開けるようにします。過去帳を置く見台があるとよいでしょう。

## 入仏法要

お内仏が入り、ご本尊(絵像・名号本尊)が届きましたら、お寺様を招き「入仏法要」をお勤めしましょう。



## 法名

真宗では「法名」といい、「戒名」という言い方はしません。仏法に帰依した人という意味で「法名」といいます。



# 神道



## ■ 祖霊舎・神徒壇

祖霊舎とは、神道の方がご先祖様をお祀りするための社です。

祖霊は、その依り代となる霊代に移された後、祖霊舎の中に納められ、神棚で祀られる神々とは別の種類の神様として自分たちを守ってくださる存在となるのです。

祖霊舎の素材は、桧製・榿製・樺製などがあります。



## ■ 霊璽・御霊代

仏式でいう位牌にあたるものです。神道では、故人の御霊を霊璽に移し、家族の手によってお祀りします。

## ■ 玉串奉奠

仏式の焼香にあたる儀式。玉串に神霊が宿っているとされ、故人の霊を慰めます。

① 順番がきたら前に進み、遺族、神官に一礼し、玉串を受け取ります。

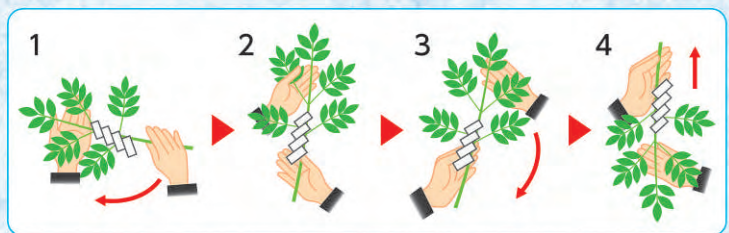
このとき、右手が根元、左手が葉先になるように受け取ります。

② 玉串を胸の高さに右回りに回します。(葉先が向こう側、根元が手前に)

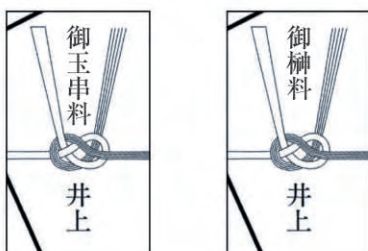
③ 左手が根元、右手が葉先になるように持ちかえ、さらに右回りに回します。

④ 根元を祭壇に向けて、両手で静かに捧げます。二礼し、音を立てずに二回しのび手を打ちます。

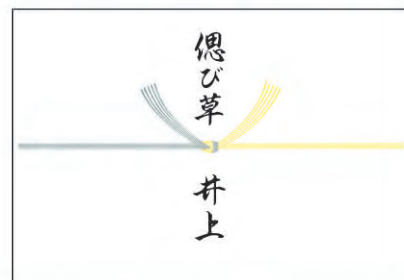
⑤ 最後に深く一礼して下がります。



## 不祝儀袋の表書き



## のび草





# 各種手続き

## 故人が年金を受給していた場合

種類	手続き	窓口	「未支給年金請求」に必要な書類
国民年金	受給権者死亡届 未支給年金請求手続き	市区町村の国民年金課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・故人の年金証書</li> <li>・故人の死亡の記載がある戸籍(除籍)謄本</li> <li>・請求者の戸籍謄本</li> <li>・住民票(故人の除票が記載された世帯全員分のもの)</li> <li>・請求者の印鑑(認印でも可)</li> <li>・請求者名義の預金通帳(郵便局の場合は窓口受取のため不要)</li> </ul>
厚生年金		住居地を管轄する年金事務所	
共済年金		各共済組合、年金事務所	

※届出を出さないと後日過払いとして返納する事になりますのでご注意ください。  
 ※詳細については、各窓口へお問い合わせ下さい。

## 年金資格喪失手続きと遺族年金などの請求

種類	項目	窓口	期限	備考
国民年金	死亡一時金	市区町村の国民年金課	2年以内	印鑑、住民票、戸籍謄本、年金手帳、通帳
	寡婦年金		5年以内	印鑑、住民票、戸籍謄本、年金手帳、死亡診断書、通帳
	遺族基礎年金		5年以内	印鑑、住民票、戸籍謄本、年金手帳、死亡診断書、通帳
厚生年金	遺族厚生年金	故人の勤務先または所轄の年金事務所	5年以内	印鑑、住民票、戸籍謄本、死亡診断書、年金証書、所得証明(受給者)、通帳
共済年金	遺族共済年金	勤務先または共済組合		

※被保険者(故人)や支給対象者には、必要な条件がありますので各窓口にてご確認ください。

## 健康保険

種類	項目	窓口	期限	備考
国民健康保険	葬祭費	市区町村の国民健康保険課	2年以内	喪主の印鑑、保険証、喪主の通帳
健康保険(社会保険)	埋葬料	故人の勤務先または所轄の年金事務所	2年以内	被保険者証、印鑑
	埋葬費	故人の勤務先または所轄の年金事務所	2年以内	被保険者証、印鑑、埋葬費用証書類
	家族埋葬費	勤務先または所轄の年金事務所	2年以内	被保険者証、印鑑



## その他諸手続き一覧

種類	手続き	窓口	備考
不動産 (宅地、家屋など)	相続による所有権移転 (保存)登記	法務局	所有権移転登記申請書、戸籍謄本(除籍謄本)、住民票抄本、 固定資産評価証明書、相続人全員の印鑑証明書
株式	株主名義変更	証券会社	株主名義変更申請書、株券、戸籍謄本(除籍謄本)、 共同相続人の同意書、相続人全員の印鑑証明書
自動車	移転登録	陸運事務所	移転登録申請書、車検証、自動車検査証記入申請書、 戸籍謄本(除籍謄本)、自賠責保険証明書、印鑑証明、相続同意書
生命保険	保険金	各保険会社	保険証書、印鑑証明、戸籍抄本、死亡診断書
簡易保険	保険金	郵便局	
預金口座	名義変更・解約	各銀行・郵便局	戸籍謄本(除籍謄本)、預金通帳、 相続人全員の印鑑証明書、遺産分割協議書

手続き項目	窓口	期限	備考
医療費控除による税金の還付手続き	税務署	5年以内	その年の源泉徴収書、 医療費の領収書
公共料金等の名義・引落口座の変更			水道、ガス、電気、NHKなど
障害者手帳・無料パス証等の返却	市区町村福祉事務所		
クレジットカードの失効手続き	クレジット会社	早い程良	カードを返却して未払金がある 場合は、精算します
亡くなった人の所得税の確定申告	税務署	4ヶ月	死亡日までの決算書、その他の 所得内訳書、源泉徴収票など
相続税の申告	税務署	10ヶ月	固定資産評価、印鑑証明、 戸籍謄本(相続人)、遺産分割協議書

## 年金事務所

倉敷東年金事務所	倉敷市老松町3-14-22	086-423-6150
倉敷西年金事務所	倉敷市玉島1952-1	086-523-6395
岡山東年金事務所	岡山市中区国富228	086-270-7925
岡山西年金事務所	岡山市北区昭和町12-7	086-214-2163



# 法要の種類と準備

中陰

ご葬儀

初七日

二七日

三七日

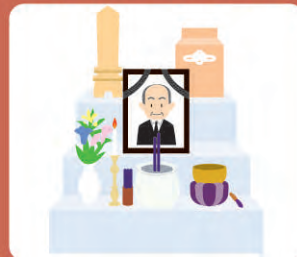
四七日

五七日

六七日

法要

中陰法要 お看経



仏壇  
仏具

お位牌



法要までに本位牌の手配

お仏壇



法要に合わせて開眼供養

先祖位牌



墓地  
墓石

追加文字彫り



法要までに彫り込み

スヤ・墓標



仮埋葬の準備

墓地

- ・市営墓地
- ・寺院墓地
- ・民営墓地

法要品  
料理  
ギフト

法要祭壇のお供え



お花・お餅  
おまんじゅう・果物

料理



会場・お膳の手配

粗供養品



手土産



満中陰

四十九日

百ヶ日

初盆  
お盆

一周忌

満中陰法要



棚 経



一周忌法要



お盆の準備



7月31日までに飾り付けます

お墓の建立



法要に合わせて開眼供養

お墓の  
リフォーム  
クリーニング

満中陰志



香典帳の整理

お盆祭壇のお供え



お花・果物  
夏野菜・盆菓子

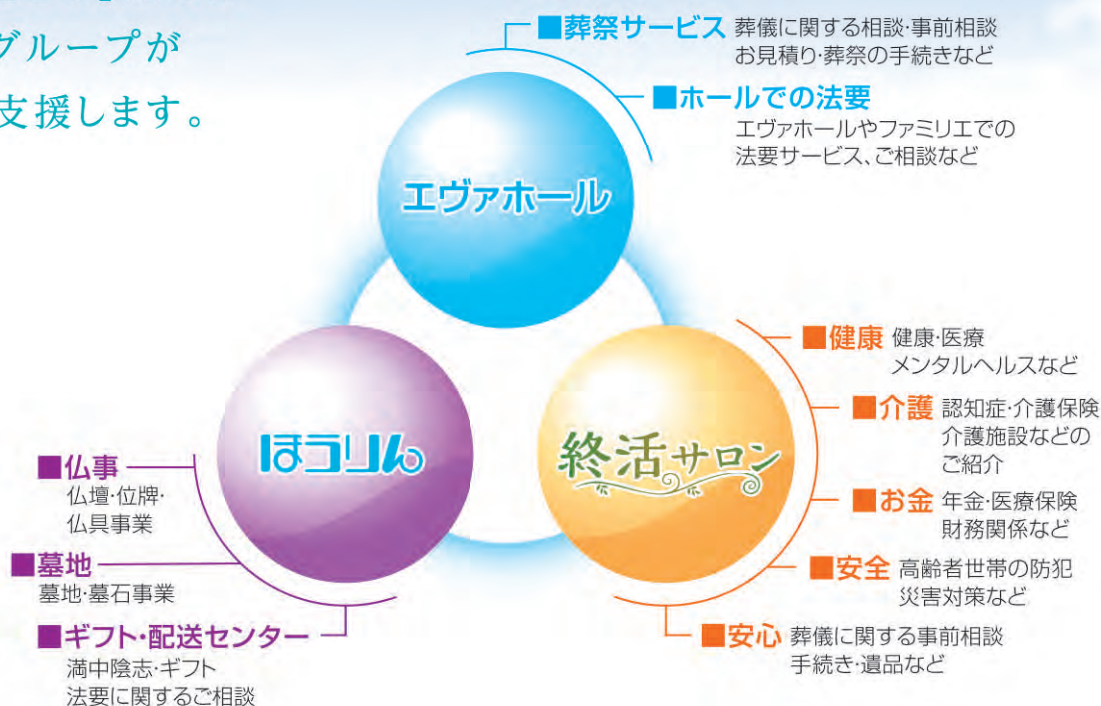
法要準備



祭壇のお供え・粗供養品・料理



豊かに「生きる」ために  
いのうえグループが  
ご家族を支援します。




## 会社概要

「儀礼文化の継承」というコンセプトのもと、総合的なサポート体制を目指しています。

社名	株式会社 鵬林
本社所在地	岡山県倉敷市笹沖490番地
設立	昭和56年6月
資本金	5000万円
代表者	代表取締役社長 井上善弘
事業内容	仏壇・仏具・墓地・墓石・ギフト商品の販売

「もしも」と「いつも」を支える。

 いのうえグループ

エヴァホール サカエ

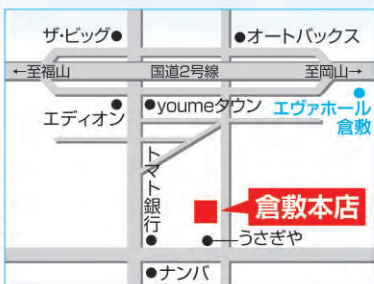
自浄庵  ファミリエ

 愛するペットのご供養に  
ペットピア  フラワースタジオ i

終活サロン



店舗のご案内



ほ우리ん倉敷本店  
倉敷市笹沖490番地

TEL.086-422-3313



ほ우리ん岡山店

岡山市中区平井3-874-3 TEL.086-274-1113



ほ우리ん新倉敷駅前店

倉敷市新倉敷駅前4-29 TEL.086-476-3303



ほ우리ん総社店

総社市中央1-20-105 TEL.0866-92-1155

Blank area with horizontal dashed lines for additional information or contact details.



祈りの専門店

ほうりん

- |                          |            |                |                  |
|--------------------------|------------|----------------|------------------|
| <input type="checkbox"/> | ほうりん倉敷本店   | 倉敷市笹沖490番地     | TEL.086-422-3313 |
| <input type="checkbox"/> | ほうりん岡山店    | 岡山市中区平井3-874-3 | TEL.086-274-1113 |
| <input type="checkbox"/> | ほうりん新倉敷駅前店 | 倉敷市新倉敷駅前4-29   | TEL.086-476-3303 |
| <input type="checkbox"/> | ほうりん総社店    | 総社市中央1-20-105  | TEL.0866-92-1155 |

[www.hourin-inc.com/](http://www.hourin-inc.com/)

